

# 2017年

## 3・8国際女性デー西胆振集会

とき 3月8日(水) 13時30分～

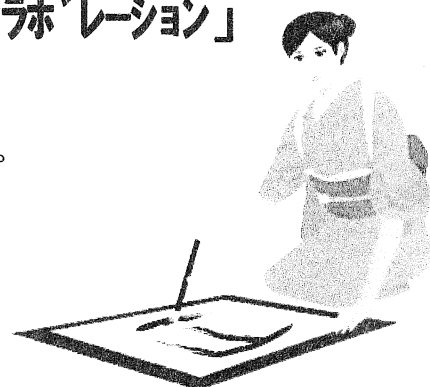
ところ みらい館 和室 入場無料

- 一部
- ・みんなで歌おう平和の歌 (オカリナ伴奏つき)
  - ・DVD上映「女性平和基金 美と平和の願いを未来に」

- 二部 書家 岸 さちこ氏によるお話とパフォーマンス
- お話の演題「私と書」
- パフォーマンス 「墨書と琴演奏のコラボレーション」

◎岸 さちこ氏プロフィール

伊達市有珠に生まれる。虻田・栗沢・伊達で保育士をされる。書道教授のお母様の影響で長年「書」に取り組まれてきた。保育士を定年退職後、南稀府町の自宅前にカフェ「里庵」をオープン。今回改組新第3回日本美術展覧会(日展)に挑戦6度目にして初入選される。



### 国際女性デーのルーツと歴史

1908年アメリカの女性労働者が、パンと参政権を求めて立ち上がりデモ行進などを行ったのが始まりです。1910年コペンハーゲンで行われた国際社会主義婦人会で、ドイツのクララ・ツェトキンらが「女性の政治的自由と平等のためにたたかう」記念の日として提唱し、世界の統一行動日として続けられてきました。国連は、1975年(国際婦人年)の3月8日以来、この日を「国際女性デー」と定め、国連事務総長が女性の完全かつ平等な社会参加の環境を整備するよう、加盟国に対して呼びかける日となっています。3月8日は世界の女性が「パンと権利と平和」をもとめて一斉に立ち上がる日です。アジア・アフリカ・ヨーロッパ・アメリカなど多くの国々で貧困と暴力をなくし、戦争に反対し、平和のなかで生きる権利を求めて女性たちが集います。

### 日本でも

1923年、婦人講演会として開催されたのが最初です。天皇制国家の弾圧で、公然と集会を開けなくなっても自宅で集いを持ち、「女性デー」を守り続けました。

1947年には戦後初の「女性デー」が取り組みられ、1949年には日比谷野外音楽堂を埋め尽くしました。その後も「女性デー」は、時々の日本女性の切実な課題を掲げ、平等・発展・平和をめざす世界の女性運動と連帯して発展しています。

主催 2017年3・8国際女性デー西胆振集会実行委員会